



第71号
 令和5年1月1日
 大竹市シニアクラブ
 連合会
 大竹市西栄2丁目4-1
 ☎0827-52-2235
 単位クラブ数 44クラブ
 会員数 1,245名

謹賀新年

コロナ禍を乗り越えよう!



新年のごあいさつ



大竹市シニアクラブ連合会
 会長 森脇 周利



皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナウイルス感染が波状的に繰り返えされる一年でしたが今年こそ収束を願うものがあります。

コロナ禍で活動が制限されるなかシニアクラブ連合会並びに各単位クラブの発展と活性化にご協力いただき心より感謝申し上げます。

私たちクラブの目的は、人生百年時代を迎え「高齢者の生きがいと健康寿命の増進」「知識や経験」を活かし諸団体と協働して、地域を豊かにする活動です。少子・高齢化社会が進展するなかで、シニアクラブの果たす役割は重要となり期待は益々大きくなってきています。

今年も私たちの活動テーマである「のぼそう！健康寿命・担おう！地域づくりを」推進するために会員一同で力を合せ取り組んで参りましょう。結びに皆様のご健康とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。

年頭あいさつ



大竹市長
入山 欣郎

年頭にあたり謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

皆様には、日頃より市政に対しまして温かいご支援、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

長引くコロナ禍で皆が大変な我慢を続けながら、ようやく世の中は少しずつ元の日常を取り戻しつつあります。大竹市ではいよいよ大竹駅の東西を結ぶ自由通路と橋上駅が完成し、利用が始まります。少しずつでも前向きに事業を進めてきた積み重ねがようやく形になります。まだ東西駅前広場の整備は残っていますが、これから大竹駅東西の地域がますます賑わい、発展していくことを願っています。

苦しい時でも前を向き行政として今、何ができるのか、何をすべきかをしっかりと判断しながら、引き続き大竹のまちが笑顔と元気で、かがやくまちとなるよう、取り組んでまいります。

皆様にはこれからも活発なクラブ活動を通して、心と身体の健康を保ちながら地域社会の中で大きな役割を担っていただくことをご期待申し上げます。

結びに、大竹市シニアクラブ連合会へますますのご発展と、会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

地域指導者講習会

総務部長 北 保夫

12月16日（金）、サントピア大竹において、単位クラブの会長等約70名の参加のもと行われました。講習会の前に、大竹市地域包括支援センターの向井保健師による、この機関がどのような支援を行っているかの説明、続いてジャンケン体操で脳を活性化した後、森脇会長のコロナ禍での取組等についての挨拶に続き会が始まりました。

研修Ⅰ 講師に大本山佛通寺僧侶 金田宗淵氏を迎え、「禅的生き方の達人編〜老人クラブへの期待〜」と題し、70分の講演。力強い一言ひとことに、参加者の皆さんも一言も聞き漏らすまいと真剣に聞き入り領いていました。

「人」は：必ず「老い」そして「死ぬ」事を直視し、奇跡と奇跡の出会い、「二期一会」を、大切に自分を見失う事なく、「日新 日々新 又日新」な気持ちで一日を大事に生きる事の大切さを示されました。

老人クラブへの期待では4件の提案が示されました。

- ① 会員以外と交流 地域密着と三世代交流を意識する！
- ② 社会貢献を意識 地域貢献の活動を工夫する！
- ③ イメージ改革 ネーミングを工夫してみる！

④ 強みを生かす！ 匠の技を提供する。
研修Ⅱ 「シニアクラブの現状と課題」について森脇会長から

クラブ数の減少、加入率の低迷している現状を鑑み、未組織地区の解消が喫緊の課題であり、会員加入促進に向けてのアピールを皆様方のお力添えご協力をお願いします。と結ばれました。

会場の皆さん、熱心に耳を傾けられ大変有意義な講習会でした。

この後、会員増強報奨金の贈呈が満月会と中浜会に対して行われました。



スタンプリィー抽選会

体育部長 竹腰 弘信

令和4年度地域指導者講習会の研修が終了した後、健康づくりと運動習慣を目的として実施されたスタンプリィーの抽選会を行いました。

この度は、昨年度のスタンプリィー参加者の皆様からのご意見を参考に、当日会場の講習会参加者にカード413枚を攪拌（かくはん）してもらった工夫して、厳正に抽選を行いました。



結果は次のとおりです。（敬称略）

1等賞：誠心会 村上 繁子

2等賞：三ツ石シニアクラブ中川 利夫

3等賞（10名）：新陽台陽光会 野脇シゲ子

4等賞（20名）：加賞（全員）は、紙面の都合上、省略いたします。当選された皆様、おめでとうございます。

第3回ゴルフコンペ

西栄二丁目寿栄会 三上 博士

11月9日(水) 広島西CCにおいて市シニアクラブゴルフコンペが開催され西栄一丁目寿栄会から参加しました。当日は天候にも恵まれ大変楽しいゴルフが出来ました。

昨年初参加し、成績はともかく大変楽しいゴルフができ、今年は仲間2人を誘って参加させてもらいました。

スタート前の練習グリーンでは、久しぶりにお会いする懐かしい顔も見えました。

ベストスコアーを目指してスタートしましたが、得意のパターが決まらず、残念ながら平凡なスコアーとなりました。しかし、大変ラッキーなことに、4パットしたホールが、ダブルペリアの隠しホールになるなど、運よく栄えある優勝に輝くことができ、大喜びです。

大会には、各クラブから17名のメンバーが参加され、80才を超えた方々もたくさん元気に参加されておられました。特に最高齢者賞は90才に近い方で、元気に楽しくプレーされているのを見ると、こちらも元気をもらいました。

ゴルフは、元気であれば何歳までもで

きるスポーツです。これからも諸先輩方を見習って、元気にこの大会に参加したいと思えます。

この大会は、クラブ皆さんの健康づくりに貢献するものであり、継続して開催していただきたいと思えます。

次回の大会を楽しみに体調管理に努め練習に励みたいと思えます。

第3回ゴルフコンペ成績(敬称略)

- 優勝 三上博士(西栄一寿栄会)
- 準優勝 丸元初江(中浜会)
- 3位 上前義登(西栄一寿栄会)



芸能大会

文芸部長 古原 英樹

11月17日(木) 芸能大会がアゼリアおたけ2階大集会室で行われました。コロナ禍で色々な行事が、中止されましたが、最近少し落着いており、今年度は規模を縮小し、コロナ対策をして三年振りに実施することになり、とまどいながらも準備、無事開催にたどり着いた時はほっとしたものでした。

来賓者なしで森脇会長の挨拶の後、演目に入りました。待ちに待った三年間の溜まっていたエネルギーが花開いたように10組35名の出演者はみんな元気一杯の熱演でした。

約80名の来観者も、盛んに拍手を送られていました。プログラム進行も皆様のご協力のもと順調に進み、最後は大竹音頭で全員踊り締め。来年は通常通りに開催出来ることを念ずるものです。



女性部長研修

女性部長 清水 富子

10月21日(木)、参加者30人で山口市に研修に行きました。

まず、最初の研修場所は、約120年もの間、親しまれてきた旧料亭「菜香亭」でした。大広間には初代外務大臣井上馨さんを始め、安倍晋三さんなど、歴代の総理大臣の扁額を拝見し、説明を聞きました。数多くの展示物、建物、庭園など、激動の歴史の歩みを感じ、その素晴らしさに感動しました。

次の研修は、山口ふるさと伝承センターでの「大内塗の箸作り体験」でした。センターの先生の指導の下、箸に金箔を吹き付け、世界に一つしかない自分の箸を作りました。どれも力作でした。食事の後はサビエル記念聖堂で貴重な説明を受けて、帰路につきました。

これからも人生百年時代に知識と経験を身につけ《健康寿命》を伸ばしたいと思っています。

当たり前だと思っていた事ができなくなった昨今ですが、コロナ禍で自由に外出できない中、大竹市シニアクラブでは予定行事を終える事が出来ました。健康で一年を過ごせたことに感謝をし、自分で作った著で新年のおせち料理を頂こうと思っています。



社会奉仕活動

事務局

今年度も9月～10月を中心に、市内の各単位クラブでは、地域の美化活動などの社会奉仕活動を行いました。

地域による違いはありますが、概ね、公園や集会所の清掃、草刈り、ゴミ集め、樹木の剪定、側溝の砂取りなどです。

中には、近所の道沿いに、沢山の花苗の植え付けなどを行ったクラブもあります。このように、会員の皆様のご尽力が地域の美化に役立っています。有難うございました。

(緑寿会の活動の様子)



県理事長杯グラウンドゴルフ大会

事務局

10月20日(木)、三原市北方で開催された第6回広島県老連理事長杯CG大会に、大竹市からは、9月の大竹市老連大会の優勝チーム「油見第一大森会」が出場し、22チーム中、みごと第8位の成績を収められました。個人戦では、キャプテンの二井原会長が第3位に入賞されました。

油見第一大森会の皆さん、大変お疲れ様でした



行事予定

- ◆ 囲碁将棋大会
- 2月10日(金) サントピア大竹
- ◆ ペタンク大会
- 3月10日(金) さかえ公園グラウンド



この広報紙の発行費用の一部は、共同募金から助成を受けています。